



ものづくり広報

平成28年度 マネジメント研修受講者を募集します

- 対象** 市内中小製造企業の管理職の方（全4回の研修に参加できる方）
- とき** 10月14日（金）、21日（金）、27日（木）、29日（土）9時～16時30分
（最終日は16時まで）
- ところ** ものづくり産業支援センター会議室（市役所別館第32階）
- 定員** 8人（先着順）
- 参加料** 無料
- 内容** 日常管理（トラブルの未然防止）と方針管理（重点目標の設定、主要施策の立案）のノウハウの習得、グループ活動、他企業見学、連携機関訪問など
- 申込み** 9月23日（金）までに、産業政策課ものづくり産業支援センターへ



▲昨年の連携機関訪問の様子

【受講者の声】株式会社鈴鹿エラストマー 専務取締役 清水 宏行 様

他企業の管理職の方と交流ができたことで、知見が広がりました。また、講座においては自社事業内での問題点の掘り下げや解決策などを学ぶことができ、改めて重要性を認識しました。研修後は、掘り下げられた課題の改善に向けてのセンターによる現場支援も受けることができ、非常に満足しています。研修で得た経験を、今後の事業展開の中で生かしていきたいと思っております。



フォーカス ものづくり

企業の人・もの・技術・地域とのつながりを紹介

林建材株式会社

住所：飯野寺家町66-1

TEL：059-382-2680

FAX：059-383-6776

（生コンクリートの製造）

【継続は力なり】

今回は、平成24年度にもものづくり産業支援センターの「2S3定の職場環境づくり」の現場支援を受け、約4年が経過した現在も維持改善に取り組んでいる林建材（株）を訪問し、お話を伺いました。

2S { 整理
整頓 } 3定 { 定品：決まった物を
定量：決まった量
定位置：決まった位置に置く

現在も継続して整理されている工具棚 ▲



▼ 現在の従業員の引き出し



「2S3定を職場全体で推進した結果、大きなムダが取れ、働きやすい職場環境が構築されるなど、効果を実感することができました。そして効果が上がることでさらなる改善が進んでいます。例えば、4人の担当者が保有していたそれぞれのカタログを一つの場所に集約し、だれもがいつでも閲覧できるように改善しました。また、商品棚についてはお客様も従業員も分かりやすいように、常に意識してレイアウト変更を心掛けています」

継続することは決して簡単なことではありませんが、林建材（株）における継続する原動力、それは、日ごろから改善する意識を職場全体で共有する一体感であることが分かりました。

支援活動事例紹介：機械加工、プレス、溶接の技術者を育成

株式会社オーテック・鈴鹿 業務内容：オートバイパーツの製造・販売

○支援テーマ：機械加工、プレス、溶接の基礎技能習得

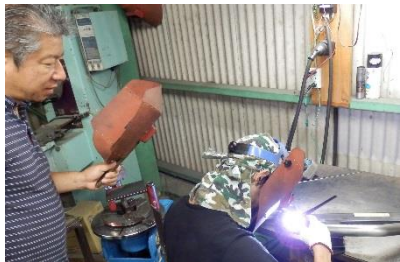
技能教育については、業務が多忙の中、社長や先輩からの指導やその背中を見て覚えるケースが多く見られます。しかし、その技術の基本が正しいかについて、自社内で客観的に判断することは困難です。

今回の支援では、機械加工、プレス、溶接の技能習得について、今まで見て覚えてきたやり方が果たして正しいのか、企業現場で長年にわたりその道で経験を積んできたものづくり産業支援センターのアドバイザーの指導支援を受けることで、検証を進めることとなりました。

支援では、まず3つの分野の座学を行い、社内全体で認識の共有化を図りました。その上で現場での実技支援を行い、全員が同じ認識の下、同じやり方で機械加工、プレス、溶接の技能習得を進めることができました。

社長からは「技能習得だけではなく、安全に対する意識も高まりました」と目に見える効果だけではなく、「毎年同じアドバイザーに来ていただき、社内全体で認識の共有化が図れています」との目に見えない効果についての声もいただきました。

当センターでは、機械加工、プレス、溶接などの技能習得について、企業現場で経験豊かなアドバイザーが直接指導する技能習得の支援を行っています。直接アドバイザーが現場に赴いて指導しますので、お気軽にお問い合わせください。



ものづくり産業展示コーナーをご活用ください

ものづくり産業支援センターでは、市内の製造企業の自慢の製品や独自の技術のPRの場として、市役所本館1階市民ロビーに「ものづくり産業展示コーナー」を設置しています。展示企業は随時募集していますので、ぜひご活用ください。

対象事業 市内の製造企業による自社の製品展示や技術紹介、パネルやパンフレットの設置

展示期間 1社あたり19日間（土・日・祝日を含む）

展示スペース 奥行き120cm×幅360cm 展示料金 無料

- ・展示を見た企業からの問い合わせが増えた。
- ・展示を準備する過程で、自社の強みや弱みが明確になった。
- ・展示方法のノウハウが分かったので、さまざまな展示会への積極的な参加への契機となった。

展示企業による
「いいね！」の声



これまでのロビー展示の様子



センターでは、展示に向けてのパネルやパンフレット作成に関するデザインの考察、展示の見せ方などについて現場支援も行っていますので、お気軽にお問い合わせください。